

## 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について

## I 調査の概要

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

## 3 調査実施日

平成28年4月19日（火）

## 4 調査の内容

## (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題
- 〔・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- 〔・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題

## (2) 質問紙調査（生活習慣や学習環境等）

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 5 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数

## (1) 学校数（義務教育学校、特別支援学校を含む）

- ・小学校：209校
- ・中学校：91校

## (2) 児童生徒数（義務教育学校、特別支援学校を含む）

- ・小学校：9,675人
- ・中学校：10,294人

## Ⅱ 調査の結果

### 1 教科に関する調査の結果

学 年	項 目	区分	国 語		算 数 ・ 数 学		(参考) 平均正答率 の合計	
			A 「知識」	B 「活用」	A 「知識」	B 「活用」		
小学校 第6学年	平均正答数 (問)	本県	11.8 / 15	6.3 / 10	13.2 / 16	7.0 / 13		
		全国	10.9 / 15	5.8 / 10	12.4 / 16	6.1 / 13		
	平均正答率 (%)	本県	<b>78.6</b>	<b>63.0</b>	<b>82.4</b>	<b>53.5</b>		(石川) 277.5
		全国	72.9	57.8	77.6	47.2		(秋田) 275.2 (富山) 267.4 (福井) 273.4
中学校 第3学年	平均正答数 (問)	本県	25.8 / 33	6.4 / 9	23.6 / 36	7.3 / 15		
		全国	25.0 / 33	6.0 / 9	22.4 / 36	6.6 / 15		
	平均正答率 (%)	本県	<b>78.1</b>	<b>70.8</b>	<b>65.6</b>	<b>48.8</b>		(石川) 263.3
		全国	75.6	66.5	62.2	44.1		(秋田) 266.5 (富山) 263.0 (福井) 268.1

## 2 質問紙調査の結果《抜粋》

### <児童生徒質問紙>

#### 【学習に対する関心・意欲・態度】

(1) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。  
→ 小6で72.4%、中3で68.8%で全国より高い。(全国：小6 67.0%、中3 62.2%)

(2) 算数・数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。  
→ 小6で87.6%、中3で84.7%で全国より高い。(全国：小6 84.8%、中3 81.1%)



授業において、主体的に学習を進めようとする態度が良好

#### 【学習習慣等】

(3) 家で、自分で計画を立てて勉強している。  
→ 小6で66.4%、中3で52.5%で全国より高い。(全国：小6 62.2%、中3 48.4%)

(4) 家で、学校の授業の復習をしている。  
→ 小6で65.5%、中3で56.2%で全国より高い。(全国：小6 55.2%、中3 51.0%)



家庭において、主体的・計画的に学習しようとする態度が良好

### <学校質問紙>

#### 【指導方法に関すること】

(5) 児童生徒の様々な考えを引き出し、思考を深めたりする発問や指導をよく行っている。  
→ 小6で39.9%、中3で39.6%で全国より高い。(全国：小6 33.5%、中3 26.2%)

(6) 全国学力・学習状況調査の自校の結果を、学校全体で教育活動を改善するためによく活用した。  
→ 小6で85.1%、中3で69.2%で全国より高い。(全国：小6 46.2%、中3 37.1%)



各学校の学力向上に対する、地道で真摯な取組が  
子どもの高い学力の維持・向上を支えている

2 質問紙調査の結果《抜粋》

(参考資料)

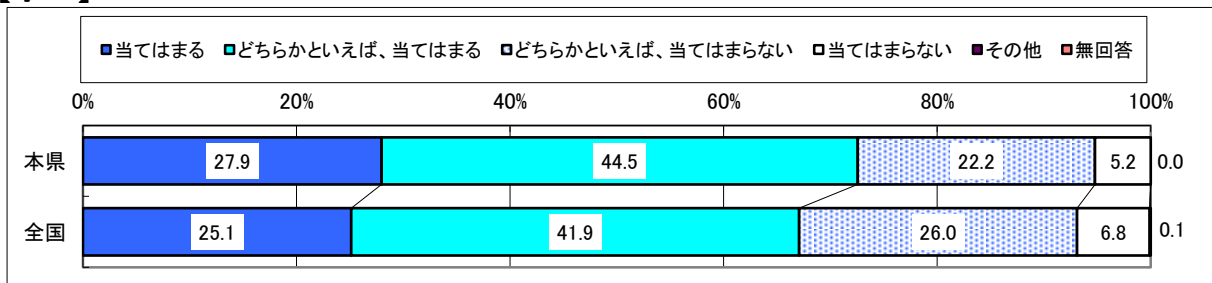
< 児童生徒質問紙 >

【学習に対する関心・意欲・態度】

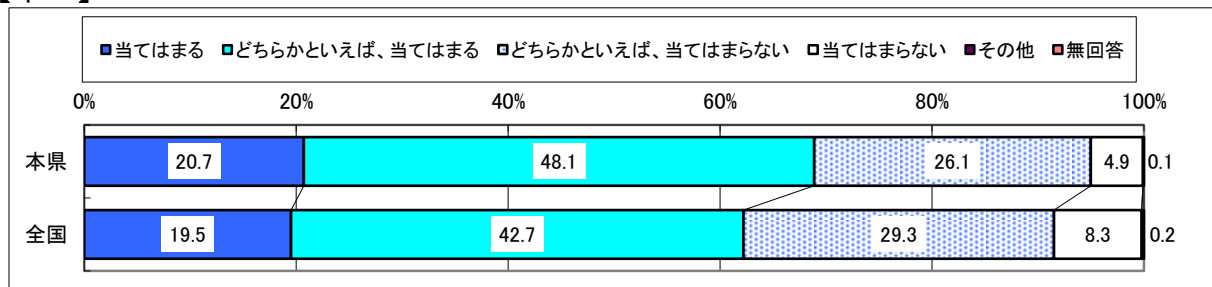
(1) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童生徒の割合は、小6は72.4%、中3は68.8%で、ともに全国より高い。

【小6】



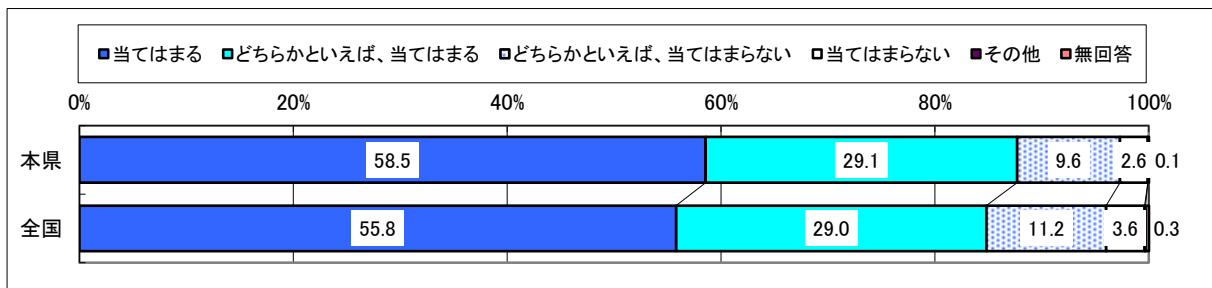
【中3】



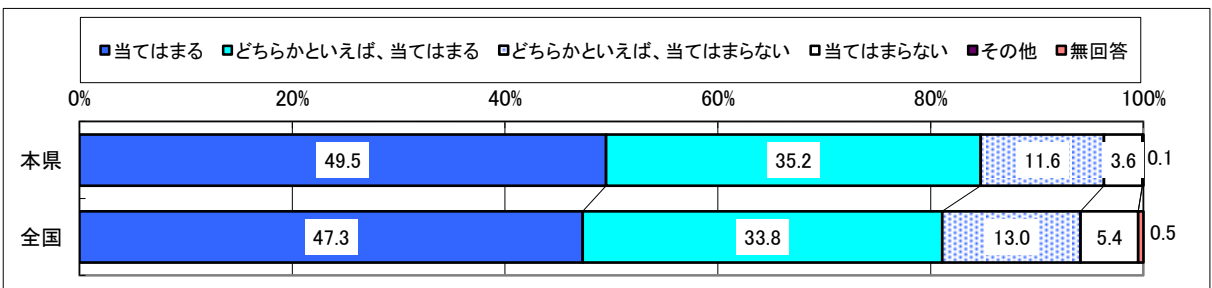
(2) 算数・数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている児童生徒の割合は、小6は87.6%、中3は84.7%で全国よりやや高い。

【小6】



【中3】

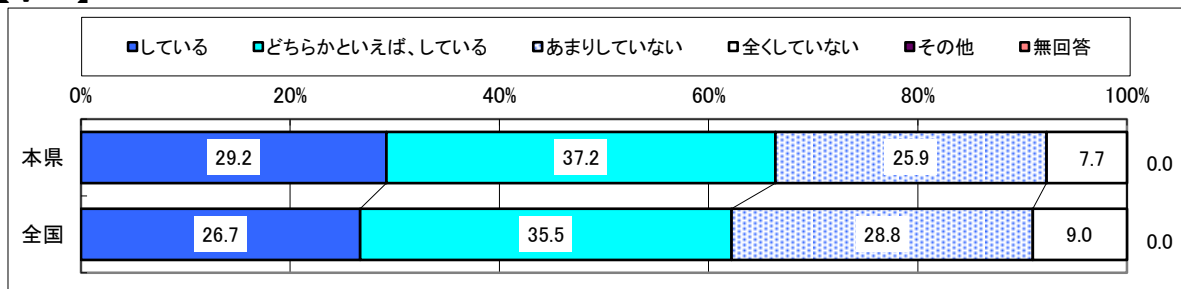


## 【学習習慣等】

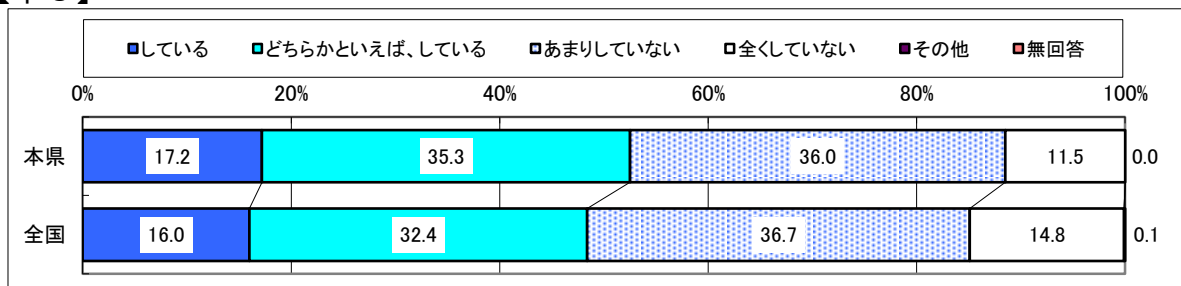
### (3) 家で、自分で計画を立てて勉強していますか

家で、自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、小6は66.4%、中3は52.5%でともに全国よりやや高い。

#### 【小6】



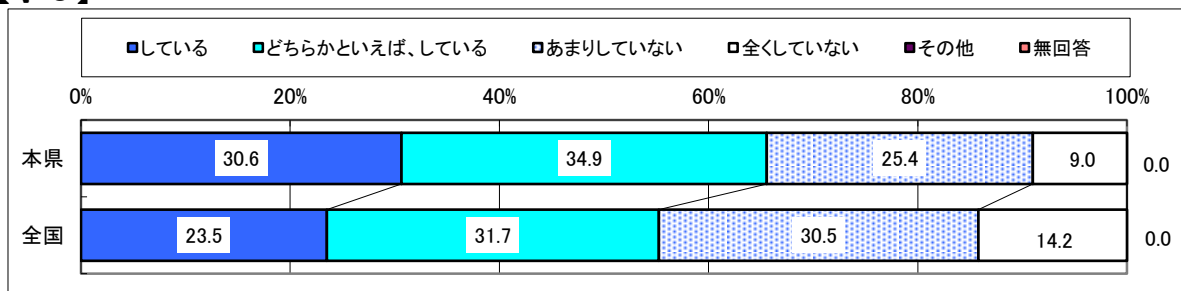
#### 【中3】



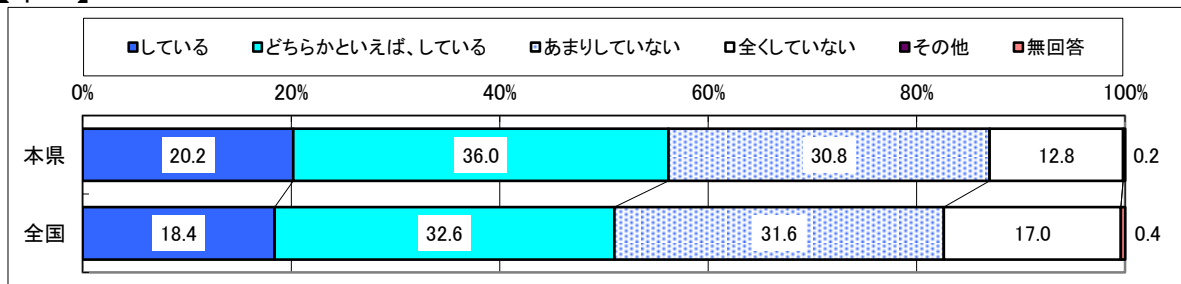
### (4) 家で、学校の授業の復習をしていますか

家で、学校の授業の復習をしている児童生徒の割合は、小6は65.5%で全国よりもかなり高く、中3は56.2%で全国より高い。

#### 【小6】



#### 【中3】



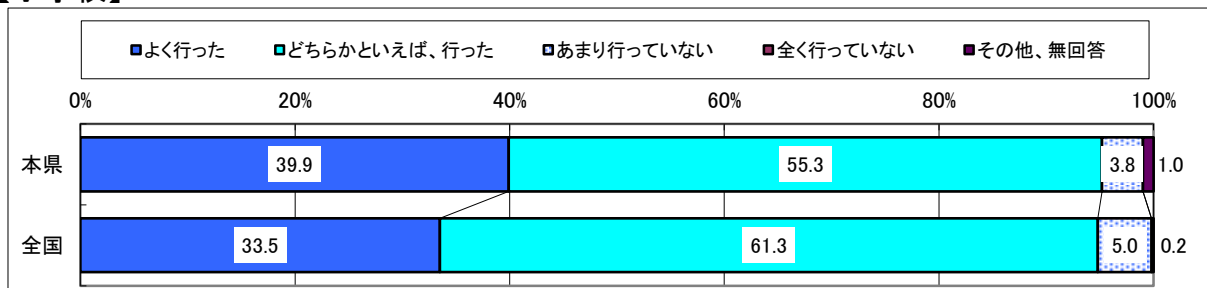
< 学校質問紙 >

【指導方法に関すること】

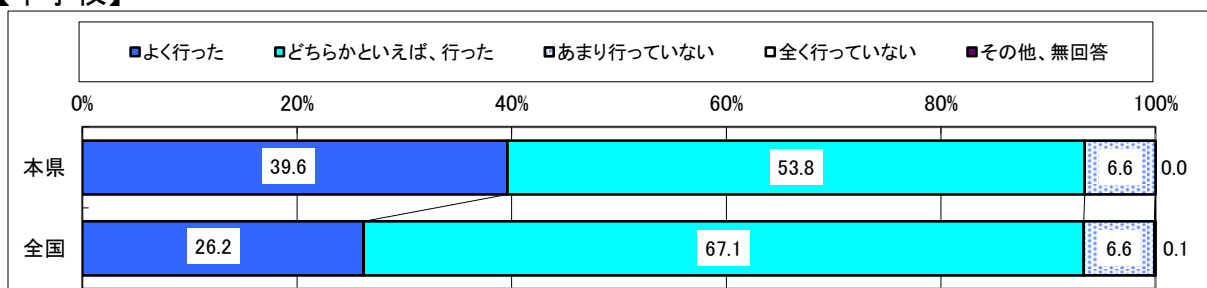
(5) 前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

前学年までに、様々な考えを引き出し、思考を深める発問や指導をしている学校の割合は、小学校は95.2%、中学校は93.4%でともに全国と同程度である。特に「よく行った」との積極的な回答は、小学校では全国を6.4%上回る高い割合であり、中学校では全国を13.4%上回るかなり高い割合である。

【小学校】



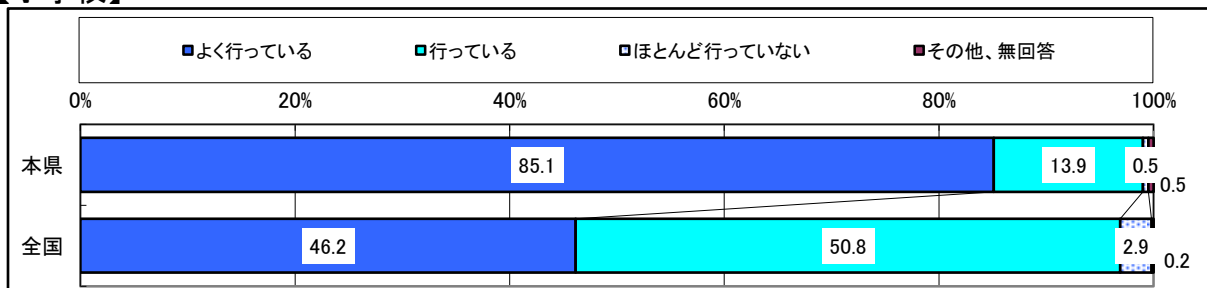
【中学校】



(6) 平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

全国学力・学習状況調査の自校の結果を学校全体で教育活動を改善するために活用している学校の割合は、小学校は99.0%、中学校は97.8%でともに全国よりやや高い。特に「よく行っている」との積極的な回答は、全国を、小学校で38.9%、中学校で32.1%上回り、ともにかなり高い割合である。

【小学校】



【中学校】

